

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求事務演習Ⅱ Medical coding Ⅱ		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(医療事務技能審査試験対策)	メディカルークユニットを履修している学生
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護保険実務論・介護保険請求実務				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
山崎雅子	非常勤講師室	月の9時から16時、火の9時から13時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
請求実務演習Ⅰの学習を確認するとともに、 ①外来及び入院レセプト作成、 ②支払基金・国保連合会への請求業務、 ③公費医療制度 を中心に学習する。				
授業の目標				
請求実務のスキルアップを目指し、 ①DPC・電子カルテに必要な知識が身につくようにする。 ②診療科ごとに対応できるように算定全般を理解し、レセプトが点検できるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題を中心に様々な診療科の事例を検討しながら、正しいレセプト点検を行うことができるようにする。				
学習の成果（学習成果）				
①診療報酬点数表を読みこなすことができる。 ②公費負担医療制度について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来と入院料につて（ガイダンス）			
第2回目	入院料 ① （初診料・緊急入院算定と記載）			
第3回目	入院料 ② （投薬と注射）			
第4回目	入院料 ③ （処置と手術）			
第5回目	入院料 ④ （検査と画像診断）			
第6回目	入院料 ⑤ （リハビリ・その他）			

第7回目	食事療養費	
第8回目	演習問題　Ⅰ	
第9回目	演習問題　Ⅱ	
第10回目	演習問題　Ⅲ	
第11回目	医療事務技能検定対策　①	
第12回目	医療事務技能検定対策　②	
第13回目	医療事務技能検定対策　③	
第14回目	請求業務の実際　（診療所）　（試験）	
第15回目	請求業務の実際　（病院）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	20%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他	20%	検定の可否で加点する。
教科書と参考図書		
診療報酬早見表（医学通信社）　医療事務医科テキスト１～４（ニチイ学館）　医療事務医科スタディブック１～３（ニチイ学館）　医療事務医科ハンドブック（ニチイ学館）		
履修上の留意点・ルール		
請求実務演習Ⅰを履修していること。 メディカルークを受験する場合は必ず履修すること。 電卓を必ず用意すること。		